

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		林道管理事業			事業コード	0680
担当課等	所属名	農林部 林政課		担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	沓澤 功		電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 林道管理事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	市が管理する林道を良好な状態で維持するため、排水施設の整備、路面の不陸整正、崩壊土砂の除去等を適切に実施するもの。					
根拠法令等	「林道規定(昭和48年4月1日付48林野道第107号林野庁長官通達) 「民有林林道の管理について」(昭和61年7月29日付61林野道第459号林野庁長官通知)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
林道管理者として開設された林道を管理することになったもの。また、林野庁通達「林道規定」及び通知「民有林林道の管理について」により、林道管理者には林道の適正な管理(林道の交通安全の確保)が求められているもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
林道利用者から、除排雪業務及び路側刈払業務について、早急で適切な対応を求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
林道管理事業の事業費は低下傾向にあるが、切土面の風化、落石防護柵や法枠等施設の老朽化が著しいため、通行の安全確保を図るには事業費の増加が必要である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	林道	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 林道管理延長 B. C.	単位	m
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・林道パトロール ・林道の除雪 ・林道の路面補修 ・林道の路肩や法面の改良 ・林道路側の草刈り及び枝払い 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・林道パトロール ・林道の除雪 ・林道の路面補修 ・林道の路肩や法面の改良 ・林道路側の草刈り及び枝払い ・林道内倒木処理	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 林道除排雪の路線延長 B. 林道路面補修業務委託の路線延長 C. 林道路側刈り払い等作業の路線延長	単位	m
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	林道利用者の安全性・快適性を維持する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 管理が原因で発生した事故件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】 B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	件
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業(このように貢献するか))	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	林道管理延長	m	170313	170313	170313	170313	170313	170313	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	林道除排雪の路線延長	m	62304	48686	48686	48686	49774	49774	年度
活動 指標B	林道路面補修業務委託の路線延長	m	170313	170313	170313	170313	170313	170313	年度
活動 指標C	林道路側刈り払い等作業の路線延長	m	170313	170313	170313	170313	170313	170313	年度
成果 指標A	管理が原因で発生した事故件数	件	1	0	0	0	0	0	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	24,773	34,173	21,531	28,093	23,701	23,701	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	24,773	34,173	21,531	28,093	23,701	23,701	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	24,773	34,173	21,531	28,093	23,701	23,701	*****
延べ業務時間数		時間	768	768	768	768	868	868	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	3,072	3,072	3,072	3,072	3,472	3,472	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	27,845	37,245	24,603	31,165	27,173	27,173	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 林道の適切な維持管理がなされることで林業活動の活性化が期待できる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 現況予算では最低限度のレベルの維持管理しかできず、これ以上の向上は望めない。事業費を増額することにより、老朽化した施設や崩れた法面等の補修を行うことで、林道利用者がより安全に通行することができるが、それが望めない状況にある。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 林道利用者の安全性、快適性の確保が難しくなる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 農道維持管理事業、市道維持管理事業等 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 統廃合できればスケールメリットにより維持管理経費を圧縮できると思われるが、各々の事業の実施根拠(法令等)が異なることから、維持管理の考え方や実施方法(管理レベル、補修の仕方)も一様ではなく、それらの整合性を図ることは難しい。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状の予算では十分な林道維持管理がなされているとはいえ、これ以上の経費削減はできない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状の人員では十分な林道維持管理がなされているとはいえ、これ以上の経費削減はできない。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 林道利用者は林業者だけではなく、沿線住民や森林におけるレクリエーションのために通行する人など多岐にわたっており、公的機能を有する林道は管理者である市が維持管理すべきものである。災害等により安全な通行が確保できない場合を除いて、利用者の通行機会を制限するものではない。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公的機能を有する林道は管理者である市が維持管理すべきものであり、林道使用における受益者の概念は当てはまらず、費用負担は適当ではない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること</p> <p>木材の生産コストの低減や市民の生活道路としての林道を維持管理する事業であり、継続して実施する必要があるが、必要な予算及び人員が確保されておらず、最低限の補修や維持管理しかできていないため、これらを確保していくことが求められる。確保が難しいとすれば市道、農道との維持管理の一元化により、スケールメリット面で効率的に行われる可能性はある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>市道、農道とは管理の考え方や根拠法令に違いがあることが問題点である。それを克服するためには時間を掛けて相違点を調整していく必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>かつての予算が相当減額された状態で、林道管理を継続しているが、多くの問題が生じてきている。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>これまで、予算を林道舗装にのみ集中した結果、既存的林道で改良が必要な部分が増えているほか、林道橋が県の調査により、工事の緊急性がある橋を指摘されているなど、問題を抱えており、その解消に向けて要望していく必要がある。</p>														